

12

月号



ほけんだより



発行日 / 令和4年 11月 30日



今年も残すところ、あと1か月となりました。

この時期流行するインフルエンザや胃腸炎の流行は今のところ見られていませんが、コロナウイルスは第8派に向け、さらなる流行に注意が必要な年末になりそうです。お子様だけでなく、ご家族皆様の体調管理に注意していきましょう。

<11月の感染症のお知らせ>
RSウイルス 6名

視力検査・耳鼻科健診・歯科健診の受診対象の方について

受診対象となっているお子様は12月中に受診の調整を行い、書類の提出をお願いいたします。

年末年始の過ごし方について

① 生活リズムについて

長いお休みで生活リズムが崩れやすくなります。夜はお子様と一緒に決まった時間に布団にはいるよう心がけましょう。

② 急な病気やけがについて

ほとんどの病院が休診となります。事前にかかりつけの休診日や近くの救急病院の診療時間も確認しておきましょう。

③ 感染症にかかった場合

インフルエンザなどの感染症と診断された場合は、休み明けに登園許可証明書の提出が必要です。コドモンの連絡より園にもお知らせください。

④ 誤飲・誤嚥・やけどにご注意を

年末年始は、帰省や来客で人が集まることにより、思わぬ事故が増えます。もちやだんご、ゼリー等による窒息や、玩具や電池、たばこの誤飲等、注意が必要です。ポットやファンヒーターなどのやけどの事故も増える時期ですので、お子様の手に触れない工夫をしましょう。

乳幼児突然死症候群（SIDS）について

SIDSとは、それまですくすく育っていた赤ちゃんが、ある日突然、眠っている間に亡くなってしまう病気です。令和3年には81名の乳幼児が亡くなっています。

以下のポイントを守ることにより SIDS の発生率が低くなるというデータがあります。

- ① 1歳になるまでは寝かせるときはあおむけで寝かせましょう
- ② できるだけ母乳で育てましょう
- ③ たばこをやめましょう

園では、タイマーで時間ごとの睡眠チェックを行い、お子様の呼吸状態を確認しています。



うつぶせ寝を仰向けに直すと、起きてしまうお子さんがいますが、大切なお子様の命を守るために、呼吸や顔色、体位の確認を時間ごと（0歳児5分毎、1・2歳児10分毎）に行っています。